



## 2024年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔IFRS〕（連結）

2024年8月8日

上場会社名 株式会社ネクソン

上場取引所 東

コード番号 3659 URL https://www.nexon.co.jp/ir/

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 李 政憲

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役最高財務責任者 (氏名) 植村 士朗 (TEL) 03-6629-5318

半期報告書提出予定日 2024年8月9日 配当支払開始予定日 2024年9月24日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト及びメディア向けオンライン決算説明会)

(百万円未満四捨五入)

## 1. 2024年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年1月1日～2024年6月30日）

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		中間利益		親会社の所有者に帰属する中間利益		中間包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期中間期	230,892	5.7	74,370	△11.3	115,673	0.8	75,339	△3.1	75,796	△2.0	149,871	11.7
2023年12月期中間期	218,523	24.8	83,889	37.1	114,730	14.0	77,721	17.2	77,329	15.9	134,150	18.0

	基本的1株当たり 中間利益	希薄化後1株当たり 中間利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期中間期	90.44	90.06
2023年12月期中間期	90.49	89.77

## (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2024年12月期中間期	1,251,699	1,027,962	1,017,484	81.3
2023年12月期	1,098,103	906,575	896,267	81.6

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	5.00	—	5.00	10.00
2024年12月期	—	7.50	—	—	—
2024年12月期(予想)	—	—	—	7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2024年12月期の中間配当につきましては、本日公表の「剰余金の中間配当に関するお知らせ」をご参照ください。

## 3. 2024年12月期第3四半期（累計）の連結業績予想（2024年1月1日～2024年9月30日）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		基本的1株当たり 四半期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第3四半期(累計)	368,680	8.8	120,375	△7.5	166,824	△0.5	112,782	△0.4	110,391	△1.9	132.14
	~	~	~	~	~	~	~	~	~	~	~
	382,938	13.0	131,657	1.1	178,115	6.3	121,726	7.5	118,839	5.6	142.25

(注) 2024年12月期の連結業績予想については、現時点で通期の合理的な業績予想の算定が困難であるため、第3四半期(累計)の業績予想のみを開示しております。また、特定の数値による予想が困難であるためレンジ形式での開示を行っております。詳細は、添付資料P.5「1. 当中間決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年12月期中間期	841,160,548株	2023年12月期	857,453,260株
② 期末自己株式数	2024年12月期中間期	9,031,130株	2023年12月期	15,809,545株
③ 期中平均株式数（中間期）	2024年12月期中間期	838,090,620株	2023年12月期中間期	854,586,323株

(注) 期末自己株式数には、当社の連結子会社であるStiftelsen Embark Incentive及びNEXON Employee Benefit Trustが保有する当社株式が含まれております（2024年12月期中間期1,405,294株、2023年12月期1,088,506株）。また、当該連結子会社が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式数に含めております（2024年12月期中間期1,270,500株、2023年12月期中間期996,765株）。

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断できる一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.5「1. 当中間決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法について）

決算補足説明資料は当社ホームページに掲載いたします。

## ○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	5
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	7
(1) 当中間連結会計期間における重要な子会社の異動 .....	7
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更 .....	7
3. 要約中間連結財務諸表及び主な注記 .....	8
(1) 要約中間連結財政状態計算書 .....	8
(2) 要約中間連結損益計算書 .....	10
(3) 要約中間連結包括利益計算書 .....	12
(4) 要約中間連結持分変動計算書 .....	14
(5) 要約中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	15
(6) 継続企業の前提に関する注記 .....	17
(7) 表示方法の変更 .....	17
(8) セグメント情報 .....	17
(9) 後発事象 .....	23

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における世界経済は、世界的な金融引締めや中国における不動産市場の停滞に伴う影響による下振れリスク、中東地域における紛争の長期化など、先行き不透明な状況が続いております。我が国経済は、不安定な国際情勢による資源・エネルギー価格の高騰や、為替変動による物価の上昇などがあったものの、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続きました。

このような状況の中、当社グループはPCオンライン事業及びモバイル事業を展開し、ユーザーの皆様楽しんでいただける高品質なゲームの開発、コンテンツの獲得、新規ゲームタイトルの配信に努めるとともに、既存ゲームタイトルのアップデートを推し進めてまいりました。具体的には、(i)大規模マルチプレイヤーオンラインゲームへの注力、(ii)PC、コンソール及びモバイル等、あらゆるプラットフォームでのサービス提供、(iii)自社IPの活用、(iv)特別に価値のある新規IPへの投資、を集中戦略として設定し、グローバル事業の成長に取り組んでまいりました。

当中間連結会計期間においては、5月21日に中国で配信を開始した『アラド戦記モバイル』(Dungeon&Fighter Mobile)の貢献により、三大フランチャイズである『アラド戦記』(Dungeon&Fighter)、『メイプルストーリー』(MapleStory)及び『EA SPORTS FC™』の総売上収益が成長いたしました。主要フランチャイズ別の売上収益は、以下のとおりです。

『アラド戦記』(Dungeon&Fighter)においては、フランチャイズを中国のモバイル市場に展開することで、多くの新規プレイヤーの獲得だけでなく、PC版の休眠ユーザーの掘り起こしに成功いたしました。その結果、フランチャイズ全体の売上収益は前年同期比で成長いたしました。5月21日に中国で配信を開始した『アラド戦記モバイル』(Dungeon&Fighter Mobile)においては、中国のファンの好みに合わせたローカライズを行った結果、想定を超えるプレイヤーエンゲージメントを引き出すことに成功いたしました。中国のPC版『アラド戦記』(Dungeon&Fighter)においては、昨年12月後半にゲーム内の経済バランスが悪化して以降、売上収益及びアクティブユーザー数の回復に向けて継続してバランス改善に取り組みました。しかし、売上収益が成長軌道に戻るにはまだ時間を要する見込みであり、前年同期との比較で減少いたしました。

『メイプルストーリー』(MapleStory)においては、既存ゲームのライブ運用を改善すると共に、地域展開やIPを新作ゲームとして拡張する取り組みにより、フランチャイズ全体の売上収益は前年同期比で増加いたしました。韓国の『メイプルストーリー』(MapleStory)では、1月以降、一部のアイテムの課金施策を変更するなど、プレイヤーエンゲージメント改善に努めた結果、ユーザー満足度を示すネットプロモータースコアに改善が見られましたが、売上収益は前年同期比で減少いたしました。一方で、韓国以外の地域においては、各地域に特化した専属の開発部門を設置し、ローカライズを強化した結果、前年同期比で成長しました。また『メイプルストーリーM』(MapleStory M)も昨年中国市場に展開したことにより、グローバルでの売上収益が前年同期比で増加いたしました。加えて、『MapleStory Worlds』の正式サービスを4月に韓国で開始し、メイプルストーリーIPのファン層拡大に貢献いたしました。

『EA SPORTS FC™ ONLINE』及び『EA SPORTS FC™ MOBILE』においては、過去最高の中間連結会計期間の売上収益を記録した前年同期との比較により、減少いたしました。

その他の主要タイトルにおいては、『ブルーアーカイブ』(Blue Archive)が4月にアニメ放映を開始し、ファン層が拡大しました。全世界の売上収益は、日本における成長や中国サービスの貢献により、前年同期比で成長いたしました。また、昨年12月に配信を開始した『THE FINALS』が増収寄与いたしました。

費用面では、売上原価が前年同期比で増加いたしました。従業員数の増加や定期昇給に加え、好業績による業績連動賞与によって人件費が増加し、また、クラウドサービス費用及び『MapleStory Worlds』に関わるクリエイター報酬も増加いたしました。販売費及び一般管理費は、従業員数の増加に伴い人件費が増加したものの、プラットフォーム利用料や広告宣伝費の減少により、前年同期比で減少いたしました。その他の費用は、当中間連結会計期間において債務超過の持分法適用会社を連結子会社化し、のれんの減損損失を認識したことにより、前年同期比で増加いたしました。

上記の結果、当中間連結会計期間の売上収益は230,892百万円(前年同期比5.7%増)、営業利益は74,370百万円(同11.3%減)、税引前中間利益は115,673百万円(同0.8%増)、親会社の所有者に帰属する中間利益は75,796百万円(同2.0%減)となっております。

報告セグメントの当中間連結会計期間の業績は、次のとおりです。

① 日本

当中間連結会計期間の売上収益は2,899百万円(前年同期比24.4%増)、セグメント損失は1,386百万円(前年同期は2,152百万円の損失)となりました。

② 韓国

当中間連結会計期間の売上収益は212,290百万円(前年同期比2.3%増)、セグメント利益は88,356百万円(同5.3%減)となりました。韓国セグメントの売上収益には、子会社であるNEXON Korea Corporationの傘下にあるNEOPLE INC.の中国におけるライセンス供与に係るロイヤリティ収益が含まれます。

③ 中国

当中間連結会計期間の売上収益は1,861百万円(前年同期比7.8%増)、セグメント利益は861百万円(同4.7%増)となりました。

④ 北米

当中間連結会計期間の売上収益は9,693百万円(前年同期比51.9%増)、セグメント損失は2,193百万円(前年同期は4,267百万円の損失)となりました。

⑤ その他

当中間連結会計期間の売上収益は4,149百万円(前年同期比571.1%増)、セグメント損失は4,654百万円(前年同期は3,459百万円の損失)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び資本の状況

## (資産)

当中間連結会計期間末の総資産は1,251,699百万円であり、前連結会計年度末に比べて153,596百万円増加しております。主な増加要因は、その他の金融資産の増加(前期末比72,775百万円増)、その他の預金の増加(同61,017百万円増)及び営業債権及びその他の債権の増加(同45,463百万円増)によるものであり、主な減少要因は、現金及び現金同等物の減少(同50,493百万円減)によるものです。

## (負債)

当中間連結会計期間末の負債合計は223,737百万円であり、前連結会計年度末に比べて32,209百万円増加しております。主な増加要因は、繰延税金負債の増加(前期末比11,330百万円増)、リース負債の増加(同11,868百万円増)及び未払法人所得税の増加(同4,727百万円増)によるものです。

## (資本)

当中間連結会計期間末における資本の残高は1,027,962百万円であり、前連結会計年度末に比べて121,387百万円増加しております。主な増加要因は、親会社の所有者に帰属する中間利益計上に伴う利益剰余金の増加(前期末比75,796百万円増)及び在外営業活動体の換算差額の計上等によるその他の資本の構成要素の増加(同76,118百万円増)によるものであり、主な減少要因は、自己株式の取得による減少(同28,332百万円減)によるものです。

この結果、親会社所有者帰属持分比率は81.3%(前連結会計年度末は81.6%)となりました。

## ② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ50,493百万円減少し、230,022百万円となりました。当該減少には資金に係る為替変動による増加の影響15,475百万円が含まれております。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は34,309百万円(前年同期は57,662百万円の収入)となりました。主な増加要因は、税引前中間利益115,673百万円によるものであり、主な減少要因は、営業債権及びその他の債権の増加額41,718百万円及び法人所得税の支払額24,202百万円によるものです。

前年同期と比べて、営業債権及びその他の債権が増加したことにより、営業活動による収入が減少いたしました。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は67,856百万円(前年同期は179,715百万円の支出)となりました。主な支出要因は、定期預金の純増加額46,188百万円及び有価証券の取得による支出8,910百万円によるものです。

前年同期と比べて、定期預金への預入れが減少したことにより、投資活動による支出が減少いたしました。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は32,421百万円(前年同期は35,686百万円の支出)となりました。主な支出要因は、自己株式の取得による支出28,339百万円によるものです。

前年同期と比べて、自己株式の取得による支出が減少したことにより、財務活動による支出が減少いたしました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当社グループの主力事業であるPCオンラインゲーム及びモバイルゲーム市場は、成長速度を予測することが難しく、ユーザーの嗜好や人気タイトルの有無などの不確定要素に収益が大きく左右されることから、通期の連結業績予想を算出することが困難であり、株主と投資家の皆様により正確な情報を提供するために、翌四半期の業績予想をレンジ形式により開示させていただいております。なお、「2024年12月期第3四半期(累計)の連結業績予想」は2024年12月期第2四半期(中間期)の実績値に第3四半期連結会計期間の連結業績予想を加算したのとなっております。2024年12月期第3四半期連結会計期間の業績予想については、下表をご参照ください。

当社グループにおける2024年12月期第3四半期連結累計期間の連結業績予想は、売上収益368,680～382,938百万円(前年同期比8.8%～13.0%増)、営業利益120,375～131,657百万円(同7.5%減～1.1%増)、税引前利益166,824～178,115百万円(同0.5%減～6.3%増)、四半期利益112,782～121,726百万円(同0.4%減～7.5%増)、親会社の所有者に帰属する四半期利益110,391～118,839百万円(同1.9%減～5.6%増)、基本的1株当たり四半期利益132.14～142.25円となっております。当社グループは、日本、韓国、中国、米国をはじめとして、世界中で事業を運営しております。第3四半期連結会計期間の取引における主要な為替レートは1ドル=158.73円、100ウォン=11.45円、1中国元=21.98円と想定しております。一般に韓国ウォンも中国人民元も米国ドルと連動して為替は推移します。このことを前提とし、為替レートの当社グループ業績への影響度に関して、当社が想定するドル円の為替レートに対して1円為替が変動した場合、第3四半期連結会計期間は売上収益が約900百万円、営業利益が約325百万円変動するものと当社では推定しております。

第3四半期連結会計期間における売上収益は、継続して『アラド戦記モバイル』(Dungeon&Fighter Mobile)が大きく増収寄与することを見込んでおります。また、7月に配信を開始した『The First Descendant』が、第3四半期連結会計期間の業績に大きく貢献することを予想しております。一方で、『メイプルストーリー』(MapleStory)が過去最高の四半期連結会計期間の売上収益を記録した前年同期との比較で減収することを見込んでおります。主要フランチャイズ別の予想は以下のとおりです。

『アラド戦記』(Dungeon&Fighter)においては、フランチャイズ全体の売上収益が、第2四半期連結会計期間に引き続き前年同期比で大幅に成長することを見込んでおります。『アラド戦記モバイル』(Dungeon&Fighter Mobile)においては、ローンチ直後の著しく好調な状況から徐々に売上収益が落ち着いてくることを予想しておりますが、第3四半期連結会計期間においても大幅な増収寄与を見込んでおります。中国のPC版『アラド戦記』(Dungeon&Fighter)においては、引き続きゲーム内経済バランスの改善に取り組むと同時に、9月の国慶節アップデートなど魅力的なコンテンツアップデートを準備しております。前年同期比での減少率は第2四半期連結会計期間から改善し、また前四半期比で増収となることを見込んでおります。

『メイプルストーリー』(MapleStory)においては、韓国におけるPC版の大型アップデートや中国におけるモバイル版の配信開始により、フランチャイズ全体として過去最高の四半期連結会計期間の売上収益を達成した前年同期の高い水準との比較で減収となることを見込んでおります。韓国の『メイプルストーリー』(MapleStory)では、前四半期比で成長することを見込んでいたものの、ユーザーが長年待ち望んでいた超大型アップデートの成功により過去最高の四半期連結会計期間の売上収益を記録した前年同期との比較では、大幅に減収となることを予想しております。韓国以外の地域においては、前年同期比でわずかに増収となることを予想しております。『メイプルストーリーM』(MapleStory M)では、中国で配信を開始した前年同期との比較で、グループ全体の売上収益が減少することを予想しております。『MapleStory Worlds』は前四半期比で増収となることを見込んでおります。

『EA SPORTS FC™ ONLINE』及び『EA SPORTS FC™ MOBILE』においては、過去最高の第3四半期連結会計期間の売上収益を達成した前年同期との比較においてわずかに減収となること予想しております。

その他の主要タイトルにおいては、7月2日に配信を開始した『The First Descendant』が第3四半期連結会計期間に大きく増収寄与することを見込んでいますが、当該連結会計期間に係る課金額のうち、50%強を繰り延べることを想定して、業績予想に織り込んでおります。『ブルーアーカイブ』(Blue Archive)においては、前四半期比では増収を見込んでいたものの、人気キャラクターのセールスプロモーションの好調や中国サービスの開始により、過去最高の第3四半期連結会計期間の売上収益を達成した前年同期との比較で減収を見込んでおります。

第3四半期連結会計期間における費用面では、好業績に伴う業績連動賞与等により前年同期比で人件費の増加を予想しております。また、『The First Descendant』などの新作プロモーションにより前年同期比で広告宣伝費の増加を見込んでおります。加えて、Steamでの売上収益の増加に伴うプラットフォーム手数料の増加及びクラウドサー

ビス費用と『MapleStory Worlds』に関わるクリエイター報酬の増加を見込んでおります。その結果、第3四半期連結会計期間の費用は前年同期比で増加することを予想しております。

業績見通しについては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでいるため、実績値は業況の変化などにより予想数値と異なる可能性があります。

(参考)

2024年12月期第3四半期の連結業績予想(2024年7月1日～2024年9月30日)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		基本的1株当たり四半期利益 円 銭
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
第3四半期	137,787	14.6	46,005	△0.7	51,151	△3.2	37,443	5.5	34,595	△1.6	41.68
	～	～	～	～	～	～	～	～	～	～	～
	152,046	26.4	57,287	23.7	62,441	18.1	46,387	30.7	43,044	22.4	51.86



## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 当中間連結会計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

## (IFRSにより要求される会計方針の変更)

当社グループが本要約中間連結財務諸表において適用する重要性がある会計方針は、特段の記載がない限り、以下の新たに適用する基準を除いて、前期の連結財務諸表において適用した会計方針と同一です。なお、当中間連結会計期間の法人所得税費用は、見積平均年次実効税率を基に算定しております。

当社グループは、当中間連結会計期間より以下の基準を適用しております。これらについては、当中間連結会計期間において重要な影響はありません。

基準書	基準書名	新設・改訂の概要
IAS第1号	財務諸表の表示	<ul style="list-style-type: none"> <li>債務及び他の負債を流動又は非流動にどのように分類するかを明確化</li> <li>特約条項付の非流動負債に関して企業が提供する情報を改善するためのもの</li> </ul>
IFRS第16号	リース	<ul style="list-style-type: none"> <li>セール・アンド・リースバック取引を取引後にどのように会計処理するのかを説明する要求事項を追加するもの</li> </ul>
IAS第7号 IFRS第7号	キャッシュ・フロー計算書 金融商品：開示	<ul style="list-style-type: none"> <li>サプライヤー・ファイナンスの透明性を増進するための開示要求</li> </ul>

## 3. 要約中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約中間連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	280,515	230,022
営業債権及びその他の債権	37,873	83,336
その他の預金	316,243	377,260
その他の金融資産	41,582	53,970
その他の流動資産	13,293	15,960
流動資産合計	689,506	760,548
非流動資産		
有形固定資産	28,854	30,483
のれん	43,924	47,357
無形資産	17,847	25,634
使用権資産	24,000	36,711
持分法で会計処理されている投資	58,120	62,999
その他の金融資産	179,199	239,586
その他の非流動資産	754	1,190
繰延税金資産	55,899	47,191
非流動資産合計	408,597	491,151
資産合計	1,098,103	1,251,699

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
仕入債務及びその他の債務	16,332	19,966
繰延収益	21,065	20,540
未払法人所得税	17,932	22,659
リース負債	5,634	7,194
引当金	11,839	14,752
その他の流動負債	16,572	14,892
流動負債合計	89,374	100,003
非流動負債		
繰延収益	15,207	15,305
リース負債	24,090	34,398
その他の金融負債	1,072	1,292
引当金	325	524
その他の非流動負債	9,711	9,136
繰延税金負債	51,749	63,079
非流動負債合計	102,154	123,734
負債合計	191,528	223,737
資本		
資本金	47,510	49,132
資本剰余金	26,719	28,394
自己株式	△45,046	△23,371
その他の資本の構成要素	159,857	235,975
利益剰余金	707,227	727,354
親会社の所有者に帰属する持分合計	896,267	1,017,484
非支配持分	10,308	10,478
資本合計	906,575	1,027,962
負債及び資本合計	1,098,103	1,251,699

## (2) 要約中間連結損益計算書

【中間連結会計期間】

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
売上収益	218,523	230,892
売上原価	△67,037	△84,744
売上総利益	151,486	146,148
販売費及び一般管理費	△67,166	△65,145
その他の収益	927	494
その他の費用	△1,358	△7,127
営業利益	83,889	74,370
金融収益	30,838	45,005
金融費用	△744	△1,126
再評価による損失の戻入	3,182	692
持分法による投資損失	△2,435	△3,268
税引前中間利益	114,730	115,673
法人所得税費用	△37,009	△40,334
中間利益	77,721	75,339
中間利益の帰属		
親会社の所有者	77,329	75,796
非支配持分	392	△457
中間利益	77,721	75,339
1株当たり中間利益 (親会社の所有者に帰属)		
基本的1株当たり中間利益	90.49円	90.44円
希薄化後1株当たり中間利益	89.77円	90.06円

## 【第2四半期連結会計期間】

(単位:百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上収益	94,436	122,474
売上原価	△32,804	△44,187
売上総利益	61,632	78,287
販売費及び一般管理費	△34,283	△32,422
その他の収益	583	295
その他の費用	△318	△936
営業利益	27,614	45,224
金融収益	16,763	19,325
金融費用	△322	△608
再評価による損失の戻入	463	—
持分法による投資損失	△1,691	△2,507
税引前四半期利益	42,827	61,434
法人所得税費用	△18,372	△22,046
四半期利益	24,455	39,388
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	24,538	39,878
非支配持分	△83	△490
四半期利益	24,455	39,388
1 株当たり四半期利益 (親会社の所有者に帰属)		
基本的1株当たり四半期利益	28.80円	47.66円
希薄化後1株当たり四半期利益	28.60円	47.49円

## (3) 要約中間連結包括利益計算書

【中間連結会計期間】

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
中間利益	77,721	75,339
その他の包括利益		
純損益に振替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産	20,681	27,075
確定給付型年金制度の再測定額	△3	△5
無形資産再評価益	—	6,452
持分法によるその他の包括利益	△281	840
法人所得税	△5,436	△9,924
純損益に振替えられることのない 項目合計	14,961	24,438
純損益にその後に振替えられる可能性の ある項目		
在外営業活動体の換算差額	41,468	50,094
純損益にその後に振替えられる可能性 のある項目合計	41,468	50,094
その他の包括利益合計	56,429	74,532
中間包括利益	134,150	149,871
中間包括利益の帰属		
親会社の所有者	133,331	149,777
非支配持分	819	94
中間包括利益	134,150	149,871

## 【第2四半期連結会計期間】

(単位:百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期利益	24,455	39,388
その他の包括利益		
純損益に振替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産	22,239	13,061
確定給付型年金制度の再測定額	△4	△3
無形資産再評価益	—	△585
持分法によるその他の包括利益	22	45
法人所得税	△5,834	△3,216
純損益に振替えられることのない 項目合計	16,423	9,302
純損益にその後に振替えられる可能性の ある項目		
在外営業活動体の換算差額	54,718	33,051
純損益にその後に振替えられる可能性 のある項目合計	54,718	33,051
その他の包括利益合計	71,141	42,353
四半期包括利益	95,596	81,741
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	95,037	81,872
非支配持分	559	△131
四半期包括利益	95,596	81,741

## (4) 要約中間連結持分変動計算書

前中間連結会計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配 持分	資本合計
	資本金	資本 剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	利益 剰余金			
資本(期首)	38,972	18,331	△16,464	114,012	703,342	858,193	9,353	867,546
中間利益	—	—	—	—	77,329	77,329	392	77,721
その他の包括利益	—	—	—	56,002	—	56,002	427	56,429
中間包括利益合計	—	—	—	56,002	77,329	133,331	819	134,150
新株の発行	4,782	4,782	—	—	—	9,564	—	9,564
新株発行費用	—	△33	—	—	—	△33	—	△33
配当金	—	—	—	—	△4,308	△4,308	—	△4,308
株式に基づく報酬取引	—	—	—	△733	—	△733	—	△733
支配継続子会社に対する 持分変動	—	43	—	—	—	43	47	90
自己株式の取得	—	△33	△36,734	—	—	△36,767	—	△36,767
自己株式の消却	—	—	50,001	—	△50,001	—	—	—
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	—	—	—	629	△629	—	—	—
その他	—	△0	—	—	—	△0	—	△0
所有者との取引額等合計	4,782	4,759	13,267	△104	△54,938	△32,234	47	△32,187
資本(期末)	43,754	23,090	△3,197	169,910	725,733	959,290	10,219	969,509

当中間連結会計期間(自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配 持分	資本合計
	資本金	資本 剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	利益 剰余金			
資本(期首)	47,510	26,719	△45,046	159,857	707,227	896,267	10,308	906,575
中間利益	—	—	—	—	75,796	75,796	△457	75,339
その他の包括利益	—	—	—	73,981	—	73,981	551	74,532
中間包括利益合計	—	—	—	73,981	75,796	149,777	94	149,871
新株の発行	1,622	1,622	—	—	—	3,244	—	3,244
新株発行費用	—	△13	—	—	—	△13	—	△13
配当金	—	—	—	—	△4,214	△4,214	—	△4,214
株式に基づく報酬取引	—	—	—	684	—	684	—	684
新株予約権の失効	—	—	—	△10	8	△2	2	—
支配継続子会社に対する 持分変動	—	71	—	—	—	71	74	145
自己株式の取得	—	△7	△28,332	—	—	△28,339	—	△28,339
自己株式の処分	—	2	7	—	—	9	—	9
自己株式の消却	—	—	50,000	—	△50,000	—	—	—
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	—	—	—	1,463	△1,463	—	—	—
所有者との取引額等合計	1,622	1,675	21,675	2,137	△55,669	△28,560	76	△28,484
資本(期末)	49,132	28,394	△23,371	235,975	727,354	1,017,484	10,478	1,027,962



## (5) 要約中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間利益	114,730	115,673
減価償却費及び償却費	4,308	4,896
株式報酬費用	2,066	1,720
受取利息及び受取配当金	△11,870	△12,724
支払利息	608	988
減損損失	1,313	6,375
再評価による損失の戻入	△3,182	△692
持分法による投資損益(△は益)	2,435	3,268
持分法で会計処理されている投資の売却損益(△は益)	△7	—
有価証券評価損益(△は益)	△4,269	△6,667
有価証券売却及び償還損益(△は益)	△752	△778
為替差損益(△は益)	△10,146	△13,804
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	△7,777	△41,718
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△1,034	△2,616
仕入債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	△2,197	2,652
繰延収益の増減額(△は減少)	821	△1,441
引当金の増減額(△は減少)	△5,760	2,382
その他の流動負債の増減額(△は減少)	448	△2,795
損失評価引当金の増減額(△は減少)	△32	△5,780
その他	181	△1,201
小計	79,884	47,738
利息の受取額	7,773	9,137
配当金の受取額	2,394	2,620
利息の支払額	△606	△984
法人所得税の支払額	△31,783	△24,202
営業活動によるキャッシュ・フロー	57,662	34,309
投資活動によるキャッシュ・フロー		
拘束性預金の純増減額(△は増加)	△2,297	△6,925
定期預金の純増減額(△は増加)	△146,279	△46,188
有形固定資産の取得による支出	△1,333	△1,810
有形固定資産の売却による収入	21	53
無形資産の取得による支出	△1,994	△1,164
長期前払費用の増加を伴う支出	△189	△743
連結子会社である投資ファンドを通じた有価証券の取得による支出	△11,138	△5,678
連結子会社である投資ファンドを通じた有価証券の売却による収入	13,743	7,416
有価証券の取得による支出	△5,287	△8,910
有価証券の売却及び償還による収入	1,892	878
持分法で会計処理されている投資の取得による支出	△23,506	△2,016
持分法で会計処理されている投資の売却による収入	7	—
短期貸付金の貸付による支出	—	△1,468
短期貸付金の回収による収入	10	—
長期貸付金の貸付による支出	△3,038	△908
長期貸付金の回収による収入	9	7
その他	△336	△400
投資活動によるキャッシュ・フロー	△179,715	△67,856

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
ストック・オプションの行使による収入	6,991	2,269
自己株式の取得による支出	△36,767	△28,339
配当金の支払額	△4,308	△4,214
リース負債の返済による支出	△1,602	△2,146
その他	△0	9
財務活動によるキャッシュ・フロー	△35,686	△32,421
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△157,739	△65,968
現金及び現金同等物の期首残高	409,368	280,515
現金及び現金同等物に係る為替変動による影響	10,379	15,475
現金及び現金同等物の中間期末残高	262,008	230,022

## (6) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (7) 表示方法の変更

(要約中間連結キャッシュ・フロー計算書)

前中間連結会計期間において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「利息及び配当金の受取額」に集約して記載しておりました「利息の受取額」及び「配当金の受取額」は、金額的に重要性が増したため、当中間連結会計期間より独立掲記することとしております。この表示方法の変更を反映させるため、前中間連結会計期間の要約中間連結キャッシュ・フロー計算書の組替えを行っております。

この結果、前中間連結会計期間の要約中間連結キャッシュ・フロー計算書において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「利息及び配当金の受取額」に表示しておりました10,167百万円は、「利息の受取額」7,773百万円及び「配当金の受取額」2,394百万円に、それぞれ組み替えております。

## (8) セグメント情報

## ① 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、PCオンラインゲーム及びモバイルゲームの制作・開発、配信を行っており、取扱う商品・サービスについて国内においては当社、海外においては現地連結子会社が、それぞれ独立した経営単位として各地域における包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。したがって、当社グループは、PCオンラインゲーム及びモバイルゲームの制作・開発、配信を基礎とした各社の所在地別の事業セグメントから構成されております。なお、当社グループは、所在地ごとの各子会社における事業の特性などから、為替の変動が業績に与える影響が類似しており、かつその影響の業績に占める割合も大きいことから、各社の所在地別に事業セグメントを集約することで、報告セグメントを作成しております。報告セグメントは「日本」、「韓国」、「中国」、「北米」及び「その他」の5つとしており、「その他」の区分には欧州及びアジア諸国が含まれております。

また、当社グループは、IFRS第15号「顧客との契約から生じる収益」を適用しております。これにより、当社グループは、顧客との契約から生じる収益を顧客との契約に基づき、PCオンライン、モバイル及びその他に収益を分解表示しております。

## ② 報告セグメントの収益及び損益

当社グループのセグメント情報は次のとおりです。

(中間連結会計期間)

前中間連結会計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

	報告セグメント					計	調整額 (注3)	連結
	日本	韓国	中国	北米	その他			
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
売上収益								
外部収益								
PCオンライン	1,793	149,768	1,728	3,619	610	157,518	—	157,518
モバイル	530	56,824	—	2,759	—	60,113	—	60,113
その他	7	875	—	2	8	892	—	892
外部収益 計	2,330	207,467	1,728	6,380	618	218,523	—	218,523
セグメント間収益	415	3,054	—	468	631	4,568	△4,568	—
計	2,745	210,521	1,728	6,848	1,249	223,091	△4,568	218,523
セグメント利益又は損失 (注1)	△2,152	93,266	823	△4,267	△3,459	84,211	109	84,320
その他の収益・費用 (純額)								△431
営業利益								83,889
金融収益・費用(純額) (注5)								30,094
再評価による損失の戻入 (注6)								3,182
持分法による投資損失								△2,435
税引前中間利益								114,730

- (注) 1. セグメント利益又は損失は、売上収益から売上原価及び販売費及び一般管理費を控除しております。  
 2. セグメント間の内部取引価格は、一般的な市場価格に基づいております。  
 3. セグメント利益又は損失の調整額109百万円は、セグメント間取引消去です。  
 4. PCオンライン及びモバイルについては、主に役務に対する支配が一定期間にわたり移転するため、一定の期間にわたり履行義務を充足し収益を認識しております。  
 5. 金融収益の主な内訳は、為替差益13,741百万円です。  
 6. 無形資産(取引所を通じて行った暗号資産に対する投資)の再評価により、純損益に認識された再評価による損失の戻入です。

当中間連結会計期間(自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

	報告セグメント					計	調整額 (注3)	連結
	日本	韓国	中国	北米	その他			
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
売上収益								
外部収益								
PCオンライン	2,387	120,043	1,861	6,935	4,142	135,368	—	135,368
モバイル	503	91,459	—	2,752	—	94,714	—	94,714
その他	9	788	—	6	7	810	—	810
外部収益 計	2,899	212,290	1,861	9,693	4,149	230,892	—	230,892
セグメント間収益	641	3,689	—	681	949	5,960	△5,960	—
計	3,540	215,979	1,861	10,374	5,098	236,852	△5,960	230,892
セグメント利益又は損失 (注1)	△1,386	88,356	861	△2,193	△4,654	80,984	19	81,003
その他の収益・費用 (純額)								△6,633
営業利益								74,370
金融収益・費用(純額) (注5)								43,879
再評価による損失の戻入 (注6)								692
持分法による投資損失								△3,268
税引前中間利益								115,673

- (注) 1. セグメント利益又は損失は、売上収益から売上原価及び販売費及び一般管理費を控除しております。
2. セグメント間の内部取引価格は、一般的な市場価格に基づいております。
3. セグメント利益又は損失の調整額19百万円は、セグメント間取引消去です。
4. PCオンライン及びモバイルについては、主に役務に対する支配が一定期間にわたり移転するため、一定の期間にわたり履行義務を充足し収益を認識しております。
5. 金融収益の主な内訳は、為替差益18,879百万円及び持分法適用会社の連結子会社化により認識した、同社への貸付金及び未収利息に係る損失評価引当金戻入益5,663百万円です。
6. 無形資産(取引所を通じて行った暗号資産に対する投資)の再評価により、純損益に認識された再評価による損失の戻入です。

(第2四半期連結会計期間)

前第2四半期連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

	報告セグメント					計	調整額 (注3)	連結
	日本	韓国	中国	北米	その他			
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
売上収益								
外部収益								
PCオンライン	823	61,631	647	1,595	176	64,872	—	64,872
モバイル	243	27,501	—	1,352	—	29,096	—	29,096
その他	6	458	—	1	3	468	—	468
外部収益 計	1,072	89,590	647	2,948	179	94,436	—	94,436
セグメント間収益	168	1,528	—	246	381	2,323	△2,323	—
計	1,240	91,118	647	3,194	560	96,759	△2,323	94,436
セグメント利益又は損失 (注1)	△1,610	33,321	190	△2,713	△1,950	27,238	111	27,349
その他の収益・費用 (純額)								265
営業利益								27,614
金融収益・費用(純額) (注5)								16,441
再評価による損失の戻入 (注6)								463
持分法による投資損失								△1,691
税引前四半期利益								42,827

- (注) 1. セグメント利益又は損失は、売上収益から売上原価及び販売費及び一般管理費を控除しております。
2. セグメント間の内部取引価格は、一般的な市場価格に基づいております。
3. セグメント利益又は損失の調整額111百万円は、セグメント間取引消去です。
4. PCオンライン及びモバイルについては、主に役務に対する支配が一定期間にわたり移転するため、一定の期間にわたり履行義務を充足し収益を認識しております。
5. 金融収益の主な内訳は、為替差益8,102百万円です。
6. 無形資産(取引所を通じて行った暗号資産に対する投資)の再評価により、純損益に認識された再評価による損失の戻入です。

当第2四半期連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

	報告セグメント					計	調整額 (注3)	連結
	日本	韓国	中国	北米	その他			
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
売上収益								
外部収益								
PCオンライン	1,100	50,653	549	2,859	1,319	56,480	—	56,480
モバイル	249	64,245	—	1,099	—	65,593	—	65,593
その他	8	390	—	3	—	401	—	401
外部収益 計	1,357	115,288	549	3,961	1,319	122,474	—	122,474
セグメント間収益	440	1,793	—	333	462	3,028	△3,028	—
計	1,797	117,081	549	4,294	1,781	125,502	△3,028	122,474
セグメント利益又は損失 (注1)	△601	49,556	53	△1,002	△2,145	45,861	4	45,865
その他の収益・費用 (純額)								△641
営業利益								45,224
金融収益・費用(純額) (注5)								18,717
持分法による投資損失								△2,507
税引前四半期利益								61,434

- (注) 1. セグメント利益又は損失は、売上収益から売上原価及び販売費及び一般管理費を控除しております。
2. セグメント間の内部取引価格は、一般的な市場価格に基づいております。
3. セグメント利益又は損失の調整額4百万円は、セグメント間取引消去です。
4. PCオンライン及びモバイルについては、主に役務に対する支配が一定期間にわたり移転するため、一定の期間にわたり履行義務を充足し収益を認識しております。
5. 金融収益の主な内訳は、為替差益8,226百万円です。

## ③ 地域ごとの情報

外部顧客からの売上収益は、次のとおりです。

(中間連結会計期間)

前中間連結会計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

	事業別の売上収益			合計
	PCオンライン	モバイル	その他	
	百万円	百万円	百万円	百万円
主な地域市場				
日本	1,841	4,052	29	5,922
韓国	84,698	41,524	791	127,013
中国	61,008	303	—	61,311
北米及び欧州	3,633	6,949	35	10,617
その他	6,338	7,285	37	13,660
合計	157,518	60,113	892	218,523

- (注) 1. 売上収益は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。  
 2. 国又は地域の区分は地理的近接度によっております。  
 3. 各区分に属する主な国又は地域  
 (1) 北米及び欧州：米国、カナダ及び欧州  
 (2) その他：中南米及びアジア諸国

当中間連結会計期間(自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

	事業別の売上収益			合計
	PCオンライン	モバイル	その他	
	百万円	百万円	百万円	百万円
主な地域市場				
日本	3,166	4,980	40	8,186
韓国	76,346	29,143	721	106,210
中国	38,866	46,652	4	85,522
北米及び欧州	8,981	7,970	12	16,963
その他	8,009	5,969	33	14,011
合計	135,368	94,714	810	230,892

- (注) 1. 売上収益は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。  
 2. 国又は地域の区分は地理的近接度によっております。  
 3. 各区分に属する主な国又は地域  
 (1) 北米及び欧州：米国、カナダ及び欧州  
 (2) その他：中南米及びアジア諸国



(第2四半期連結会計期間)

前第2四半期連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

	事業別の売上収益			合計
	PCオンライン	モバイル	その他	
	百万円	百万円	百万円	百万円
主な地域市場				
日本	848	1,447	18	2,313
韓国	41,701	19,947	423	62,071
中国	18,073	158	—	18,231
北米及び欧州	1,686	3,755	20	5,461
その他	2,564	3,789	7	6,360
合計	64,872	29,096	468	94,436

(注) 1. 売上収益は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2. 国又は地域の区分は地理的近接度によっております。

3. 各区分に属する主な国又は地域

(1) 北米及び欧州：米国、カナダ及び欧州

(2) その他：中南米及びアジア諸国

当第2四半期連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

	事業別の売上収益			合計
	PCオンライン	モバイル	その他	
	百万円	百万円	百万円	百万円
主な地域市場				
日本	1,766	2,763	27	4,556
韓国	35,760	12,762	348	48,870
中国	12,150	44,186	4	56,340
北米及び欧州	3,692	3,347	5	7,044
その他	3,112	2,535	17	5,664
合計	56,480	65,593	401	122,474

(注) 1. 売上収益は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2. 国又は地域の区分は地理的近接度によっております。

3. 各区分に属する主な国又は地域

(1) 北米及び欧州：米国、カナダ及び欧州

(2) その他：中南米及びアジア諸国

## (9) 後発事象

該当事項はありません。